

## 小売業

### 1. 評価対象企業（22 社）

#### 【百貨店】（4 社）

J.フロント リテイリング、三越伊勢丹ホールディングス、  
高島屋、丸井グループ

#### 【総合小売・コンビニエンスストア】（4 社）

ローソン、セブン & アイ・ホールディングス、  
パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス、イオン

#### 【ネット通販】（3 社）

アスクル、MonotaRO、ZOZO

#### 【専門店】（11 社）

エービーシー・マート、ウエルシアホールディングス、ツルハホールディングス、  
良品計画、スギホールディングス、しまむら、  
ケーズホールディングス、ヤマダホールディングス、  
ニトリホールディングス、ファーストリテイリング、サンドラッグ

（証券コード協議会銘柄コード順）

### 2. 評価方法

#### （1） 評価基準の構成および配点

| 評価分野                            | 下記本文中の略称      | 評価<br>項目(注)数 | 配点  |
|---------------------------------|---------------|--------------|-----|
| ①経営陣の IR 姿勢、IR 部門の機能、IR の基本スタンス | 経営陣の IR 姿勢等   | 3            | 27  |
| ②説明会、インタビュー、説明資料等における開示         | 説明会等          | 5            | 20  |
| ③フェア・ディスクロージャー                  | フェア・ディスクロージャー | 5            | 18  |
| ④ESG に関連する情報の開示                 | ESG 関連        | 4            | 27  |
| ⑤各業種の状況に即した自主的な情報開示             | 自主的な情報開示      | 2            | 8   |
| 計                               |               | 19           | 100 |

（注）具体的な評価項目の内容および配点は 117 頁参照。なお、評価分野④は「コーポレート・ガバナンスに関連する情報の開示」から名称を変更した。

#### （2） 評価実施アナリストは 36 名（所属先 27 社）である。（氏名等は 118 頁参照）

### 3. 評価結果

#### （1） 総括（「ディスクロージャー評価比較総括表」は 116 頁参照）

- ① 本年度は、評価項目分野のうちコーポレート・ガバナンス関連を ESG 関連に名称変更し、同分野を中心に項目内容・配点を見直した。このため、昨年度と同列には比較できないが、本年度の総合評価点は 69.2 点（昨年度 68.5 点）、総合評価点の標準偏差は 9.7 点（昨年度 9.5 点）であった。

- ② 業態別の総合評価平均点は、高得点順に、百貨店（4社）：78.6点（昨年度74.5点）、総合小売・コンビニエンスストア（4社）：74.3点（昨年度73.4点）、ネット通販（3社）：68.5点（昨年度72.5点）、専門店（11社）：64.1点（昨年度63.5点）となった。百貨店は4社全てが昨年度を上回り、特に、三越伊勢丹ホールディングスは大幅な上昇（+11.4点）となった。一方、ネット通販は3社全てが昨年度を下回り、百貨店および総合小売・コンビニエンスストアとの差が再び広がった。なお、専門店については、昨年度をやや上回る程度であったが、その中で、ヤマダホールディングス（+8.7点）、しまむら（+6.1点）の上昇が目立った。一方、ドラッグストアの4社は全て昨年度を下回った。
- ③ 5つの評価分野毎に平均得点率（評価対象企業の平均点／配点〈以下省略〉）を見ると、**経営陣のIR姿勢等**が72%（昨年度68%）、**説明会等**が77%（昨年度76%）、**フェア・ディスクロージャー**が81%（昨年度83%）、**ESG関連**が60%（昨年度62%）、**自主的情報開示**が45%（昨年度52%）となった。
- ④ 評価項目について見ると、平均得点率80%以上の評価項目は5項目（昨年度7項目）となり、そのうち85%以上は次の2項目（**説明会等**の中の1項目(b)および**フェア・ディスクロージャー**の中の1項目(a)）（昨年度4項目）であった。
- (a) 「経営陣およびIR部門が、投資家にとって重要と判断される事項（疫病や自然災害等を含む）を遅滞なく十分に、かつ公平に開示していますか」（平均得点率89%〔昨年度85%〕）（得点率（評価点／配点〈以下省略〉）：70%台1社・80%台4社・90%台17社）
- (b) 「月次の売上状況は、十分に記載されていますか」（平均得点率85%〔昨年度同率〕）（得点率：10%台2社・70%台1社・80%台2社・90%台13社・100%台4社）
- ⑤ 一方、平均得点率が50%台以下の評価項目は、次の3項目（**ESG関連**の中の1項目(c)および**自主的情報開示**の2項目(a)(b)）（昨年度3項目）となった。なお、得点率の分布を見ると、高い企業が見られる一方で低いものも少なくないため、低い評価の企業については一層の改善を求めたい。
- (a) 「会社主催の決算説明会、ESG説明会以外のIRイベントを積極的に実施し、かつその内容が充実していますか」（平均得点率44%〔昨年度45%〕）（得点率：10%台2社・20%台6社・40%台7社・50%台1社・60%台1社・70%台3社・80%台2社）
- (b) 「投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していますか」（平均得点率46%〔昨年度43%〕）（得点率：20%台4社・30%台3社・40%台5社・50%台6社・60%台3社・80%台1社）
- (c) 「中期経営戦略や長期ビジョンを公表し、株主還元策や資本政策（資本コスト・リターン）、経営目標等を具体的かつ納得性の高い数値で示していますか」（平均得点率53%）（得点率：20%台1社・30%台2社・40%台5社・50%台10社・60%台1社・70%台2社・80%台1社）
- ⑥ **ESG関連**の4項目（全て本年度の新設項目）は、次のとおりとなった。なお、(d)については、平均得点率が50%台と低水準となっており、特に改善が求められる。
- (a) 「企業価値の向上につながるようなマテリアリティの設定が行われ、開示されていますか」（平均得点率69%）（得点率：20%台1社・50%台6社・60%台5社・70%台3社・80%台6社・90%台1社）
- (b) 「ESGに関する十分なデータ、目標達成に向けての具体的な戦略、および進捗状況が開示されていますか」（平均得点率64%）（得点率：20%台1社・40%台3社・50%台3社・60%台7社・70%台4社・80%台3社・90%台1社）
- (c) 「ESGに関する取組みについて、統合報告書や説明会等（社外取締役との対話を含む）を通じて、市場関係者の理解を得るよう努めていますか」（平均得点率62%）（得点率：20%台1社・40%台4社・50%台5社・60%台4社・70%台4社・80%台3社・90%台1社）
- (d) 「中期経営戦略や長期ビジョンを公表し、株主還元策や資本政策（資本コスト・リターン）、経営目標等を具体的かつ納得性の高い数値で示していますか」（平均得点率53%）（得点率：20%台1社・30%台2社・40%台5社・50%台10社・60%台1社・70%台2社・80%台1社）

(2) 上位3企業の評価概要

**第1位 丸井グループ**（ディスクロージャー優良企業〔2回連続4回目〕、総合評価点 87.0 点〔昨年度比+0.8 点〕）

- ① 同社は、経営陣の IR 姿勢等（得点率〈以下省略〉86%）、ESG 関連（88%）、自主的情報開示（80%）が第1位、フェア・ディスクロージャーが同得点第2位（92%）、説明会等が第4位（85%）となった。
- ② 経営陣の IR 姿勢等においては、「経営陣の IR 姿勢」および「IR 部門の機能」が、最も高い評価となり、「IR の基本スタンス」も、同得点第1位となった。これらに関連して、経営トップが IR に積極的であり、投資家が求める内容を開示しているとの声や、資本市場から見た自社のポジショニング把握に努め、経営戦略に反映させているとの声が寄せられた。また、経営トップによるスモールミーティング、IR DAY の開催を評価する声があった。
- ③ 説明会等においては、「四半期情報開示」（同得点第3位）が高い評価となり、「実績および次期事業計画について、決算短信・添付資料と同時に、企業分析に必要なかつ十分な補足資料が開示されていること」（同得点第2位）および「決算説明会における会社側の説明および質疑応答が十分に満足できること」（同得点第3位）も共に評価された。また、そのほかの2項目についても、80%以上の得点率となった。これらに関連して、常にテーマや課題を明確にして説明会に臨んでいる姿勢を評価する声や、決算説明会などの説明資料が充実しており理解しやすいとの声が寄せられた。
- ④ フェア・ディスクロージャーにおいては、「外国人投資家向け情報提供」が満点となった。そのほかの4項目についても、全てが90%以上の得点率となった。
- ⑤ ESG 関連においては、4項目全てが最も高い評価となった。これらに関連して、統合レポート以外にも、VISION BOOK 2050 を発行するなど、投資家の理解が深まるような工夫をしているとの声や、中期経営計画の内容、資本政策、ESG への取組みは他社に先行しているとの声が寄せられた。
- ⑥ 自主的情報開示においては、「投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR 部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していること」が、最も高い評価となった。また、「会社主催の決算説明会、ESG 説明会以外の IR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」も、同得点第1位となった。これらに関連して、説明会における適時のテーマ設定や、IR DAY の開催を評価する声があった。

これら同社の努力と姿勢は、ディスクロージャーのさらなる進展のために他の企業の模範となると認められるので、同社を本年度の当業種における優良企業として選定した。

**第2位 J. フロント リテイリング**（高水準のディスクロージャーを連続維持している企業、総合評価点 81.8 点〔昨年度比+2.8 点〕、昨年度第3位〔一昨年度第3位〕）

- ① 同社は、フェア・ディスクロージャーが第1位（94%）、ESG 関連が第2位（81%）、経営陣の IR 姿勢等が同得点第3位（81%）、自主的情報開示が同得点第5位（60%）、説明会等が同得点第6位（82%）となった。自主的情報開示を除く4分野において得点率が改善し、順位を上げた。
- ② 経営陣の IR 姿勢等においては、「経営陣の IR 姿勢」（第3位）が評価された。これに関連して、トップマネジメントによる定期的な投資家ミーティングの開催や、投資家の意見を積極的に受け入れようとする姿勢について評価する声が寄せられた。また、「IR 部門の機能」（第8位）および「IR の基本スタンス」（同得点第6位）も共に、昨年度に比べ得点率が改善した。
- ③ 説明会等においては、「実績および次期事業計画について、決算短信・添付資料と同時に、企業分析に必要なかつ十分な補足資料が開示されていること」が、同得点第2位となった。また、「月次の売上状況が十分に開示されていること」（同得点第5位）、「決算説明会における会社側の説明および質疑応答が十分に満足できること」（第6位）および「四半期情報開示」（同得点第9位）が、いずれも80%以上の得点率となった。なお、「投資家にとって重要と判断される事項（例えば、業績変動、合併・提携等）が発生した場合、迅速かつ公平に十分な説明を行っていること。また、セグメント分類や IFRS の導入をはじめ会計方針等の制度変更が生じた場合、過去の数値と比較ができるような情報の開示が十分に行われていること」は、平均得点率に達しなかった。こ

れに関連して、パルコ、金融関連について十分な説明を求める声のほか、遡及修正がわかりにくいとの声があった。

- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、「外国人投資家向け情報提供」が満点となった。そのほかの4項目についても、全てが90%以上の得点率となり、この分野において第1位となった。これらに関連して、質疑応答の英語化だけでなく、動画についても英語対応しており評価できるとの声があった。
- ⑤ **ESG 関連**においては、「ESG に関する取組み」の3項目が、いずれも80%以上の得点率となった。これらに関連して、ESG 説明会を開催するなど、投資家の理解が深まるよう工夫しているとの声が寄せられた。また、「目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示」も第2位となり、これらの結果、この分野において第2位となった。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、「会社主催の決算説明会、ESG 説明会以外のIR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」が第6位、「投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR 部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していること」が同得点第6位となった。評価できるイベントとして、事業戦略説明会を挙げる声があった。

同社は、3回連続して第2位または第3位の評価を受けたので、「**高水準のディスクロージャーを連続維持している企業**」に選定した。

### **第3位 セブン&アイ・ホールディングス（総合評価点81.1点〔昨年度比+2.4点〕、昨年度第4位）**

- ① 同社は、**自主的情報開示**が第2位（71%）、**説明会等**が同得点第2位（85%）、**ESG 関連**が第3位（76%）、**経営陣のIR 姿勢等**が同得点第3位（81%）、**フェア・ディスクロージャー**が第8位（88%）となった。昨年度に比べ、**自主的情報開示**を除く4分野において得点率が改善し、順位を上げた。
- ② **経営陣のIR 姿勢等**においては、3項目全てが昨年度に比べ得点率が改善し、80%以上の得点率となった。これらの結果、この分野で同得点第3位となった。これらに関連して、経営陣は、**IR 活動**で得られた意見を経営活動に活かしているとの声が寄せられた。
- ③ **説明会等**においては、「実績および次期事業計画について、決算短信・添付資料と同時に、企業分析に必要なかつ十分な補足資料が開示されていること」が、最も高い評価となった。また、「投資家にとって重要と判断される事項（例えば、業績変動、合併・提携等）が発生した場合、迅速かつ公平に十分な説明を行っていること。また、セグメント分類やIFRSの導入をはじめ会計方針等の制度変更が生じた場合、過去の数値と比較ができるような情報の開示が十分に行われていること」（同得点第2位）および「四半期情報開示」（同得点第3位）も、高い評価となった。そのほかの2項目も、80%以上の得点率となった。なお、質疑時間の十分な確保を望む声や、北米事業に関して、より詳細な開示を求める声があった。
- ④ **フェア・ディスクロージャー**においては、「外国人投資家向け情報提供」が満点となった。そのほかの4項目も全てが80%以上の得点率となったが、「経営陣がメディアを含む総合的な情報開示や取材対応等につき、不公平や混乱が生じないようにしていること」（同得点第17位）については、平均得点率に達しなかった。これに関連して、報道が開示に先行する状況が見られるとの声があった。
- ⑤ **ESG 関連**においては、「目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示」が第3位となった。「ESG に関する取組み」（3項目）については、「ESG に関する取組みについて、統合報告書や説明会等（社外取締役との対話を含む）を通じて、市場関係者の理解を得るよう努めていること」（第6位）を除き、80%以上の得点率となった。これらの結果、この分野において第3位となった。これらに関連して、ESG 説明会の開催を求める声があった。
- ⑥ **自主的情報開示**においては、「投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR 部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していること」が、同得点第2位となった。また、「会社主催の決算説明会、ESG 説明会以外のIR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」も第3位となり、これらの結果、この分野において第2位となった。評価できるイベントとして、商品戦略説明会を挙げる声が多かった。

(3) 上記以外の企業についての特記事項

○ 三越伊勢丹ホールディングス（ディスクロージャーの改善が著しい企業、総合評価点 79.1 点〔昨年度比 +11.4 点、一昨年度比 +12.2 点〕、第 4 位〔昨年度第 13 位、一昨年度第 10 位〕）

- ① 同社は、自主的情報開示が第 3 位（70%）、ESG 関連が第 4 位（73%）、説明会等が同得点第 6 位（82%）、経営陣の IR 姿勢等が第 8 位（80%）、フェア・ディスクロージャーが同得点第 9 位（88%）となった。昨年度に比べ、フェア・ディスクロージャーを除く 4 分野で得点率が大きく改善したことから、順位を大幅に上げた。
- ② 経営陣の IR 姿勢等においては、「経営陣の IR 姿勢」（同得点第 5 位）、「IR の基本スタンス」（同得点第 6 位）および「IR 部門の機能」（第 9 位）の得点率が、いずれも 10 ポイント以上改善した。これらの結果、この分野において第 8 位（昨年度第 16 位）となった。これらに関連して、新経営陣になって、IR における経営戦略や施策の狙いがわかりやすく伝わるようになったとの声が寄せられた。
- ③ 説明会等においては、「月次の売上状況が十分に開示されていること」が満点となった。また、「説明会、インタビューにおける開示」は、昨年度に比べ得点率が 20 ポイント以上改善し、同得点第 1 位となった。これらに関連して、月次データの詳細な開示が有用であるとの声や、決算説明会、中期経営計画などの資料は充実しており、わかりやすいとの声が寄せられた。なお、「四半期情報開示」（同得点第 13 位）は、平均得点率と同程度となった。これに関連して、第 1・第 3 四半期の開示資料の充実を求める声があった。
- ④ フェア・ディスクロージャーにおいては、「外国人投資家向け情報提供」を除く 4 項目が、いずれも 90%以上の得点率となった。
- ⑤ ESG 関連においては、「目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示」および「ESG に関する取組みについて、統合報告書や説明会等（社外取締役との対話を含む）を通じて、市場関係者の理解を得るよう努めていること」が第 4 位となった。また、そのほかの 2 項目も、平均得点率を上回った。これらに関連して、サステナビリティ説明会の開催を評価する声があった。
- ⑥ 自主的情報開示においては、「投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR 部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していること」が、同得点第 2 位となった。また、「会社主催の決算説明会、ESG 説明会以外の IR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」が第 4 位となり、これらの結果、この分野において第 3 位（昨年度第 9 位）となった。評価できるイベントとして、事業戦略説明会を挙げる声が多く寄せられた。

同社は、このようにディスクロージャーの改善が著しいので、「ディスクロージャーの改善が著しい企業」に選定した。

○ しまむら（ディスクロージャーの改善が著しい企業、総合評価点 74.4 点〔昨年度比 +6.1 点、一昨年度比 +13.8 点〕、第 9 位〔昨年度第 11 位、一昨年度第 19 位〕）

- ① 同社は、説明会等が第 1 位（86%）、経営陣の IR 姿勢等が同得点第 3 位（81%）、自主的情報開示が第 8 位（51%）、フェア・ディスクロージャー（84%）、ESG 関連（60%）が第 12 位となった。昨年度に比べ、5 分野全てにおいて得点率が改善し、総合評価点が大きく上昇した。
- ② 経営陣の IR 姿勢等においては、「IR 部門の機能」が同得点第 3 位、「経営陣の IR 姿勢」が第 4 位となり、共に 80%以上の得点率となった。また、「IR の基本スタンス」（第 8 位）も、昨年度に比べ得点率が改善した。これらの結果、この分野において同得点第 3 位となった。これらに関連して、経営トップの積極的な IR 活動や、投資家との対話を重視する姿勢を評価する声のほか、IR 担当者の説明能力が高いとの声が寄せられた。また、いずれの開示項目においても継続的に改善が見られるとの声もあった。
- ③ 説明会等においては、「月次の売上状況が十分に開示されていること」が、95%以上の得点率となり、「説明会、インタビューにおける開示」が、同得点第 1 位となった。そのほかの 3 項目も評価され、いずれも 80%以上の得点率となった。これらの結果、この分野において第 1 位（昨年度第 5 位）となった。これらに関連して、月次発表時も含め説明会全般において、その内容が質・量共に改善・充実してきているとの声が寄せられた。
- ④ フェア・ディスクロージャーにおいては、「外国人投資家向け情報提供」を除く 4 項目が、いずれも 85%以上の得点率となった。
- ⑤ ESG 関連においては、4 項目のいずれも平均得点率と同程度となった。なお、ESG 説明会の開催を評価する

声があった。

- ⑥ **自主的情報開示**においては、「会社主催の決算説明会、ESG 説明会以外の IR イベントを積極的に実施し、その内容が充実していること」（第 7 位）および「投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR 部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していること」（同得点第 9 位）は共に、平均得点率を上回った。

同社は、このようにディスクロージャーの改善が著しいので、「**ディスクロージャーの改善が著しい企業**」に選定した。

以 上

# 2022年度 ディスクロージャー評価比較総括表（小売業）

（単位：点）

| 順位 | 評価項目<br><br>評価対象企業               | 総合評価<br>(100点) | 1. 経営陣のIR姿勢、<br>IR部門の機能、IR<br>の基本スタンス |    | 2. 説明会、インタビュー、<br>説明資料等における<br>開示 |    | 3. フェア・ディスク<br>ロージャー |    | 4. ESGに関連する<br>情報の開示 |    | 5. 各業種の状況に即した<br>自主的な情報開示 |    | 前回<br>順位 |
|----|----------------------------------|----------------|---------------------------------------|----|-----------------------------------|----|----------------------|----|----------------------|----|---------------------------|----|----------|
|    |                                  |                | 評価項目3<br>(配点27点)                      |    | 評価項目5<br>(配点20点)                  |    | 評価項目5<br>(配点18点)     |    | 評価項目4<br>(配点27点)     |    | 評価項目2<br>(配点8点)           |    |          |
|    |                                  |                | 評価点                                   | 順位 | 評価点                               | 順位 | 評価点                  | 順位 | 評価点                  | 順位 | 評価点                       | 順位 |          |
| 1  | 8252 丸井グループ                      | 87.0           | 23.3                                  | 1  | 16.9                              | 4  | 16.6                 | 2  | 23.8                 | 1  | 6.4                       | 1  | 1        |
| 2  | 3086 J. フロントリテイリング               | 81.8           | 21.9                                  | 3  | 16.4                              | 6  | 16.9                 | 1  | 21.8                 | 2  | 4.8                       | 5  | 3        |
| 3  | 3382 セブン&アイ・ホールディングス             | 81.1           | 21.9                                  | 3  | 17.0                              | 2  | 15.9                 | 8  | 20.6                 | 3  | 5.7                       | 2  | 4        |
| 4  | 3099 三越伊勢丹ホールディングス               | 79.1           | 21.5                                  | 8  | 16.4                              | 6  | 15.8                 | 9  | 19.8                 | 4  | 5.6                       | 3  | 13       |
| 5  | 2678 アスクル                        | 78.2           | 23.0                                  | 2  | 17.0                              | 2  | 16.2                 | 6  | 18.3                 | 6  | 3.7                       | 10 | 2        |
| 6  | 9983 ファーストリテイリング                 | 76.8           | 21.6                                  | 6  | 15.5                              | 11 | 16.6                 | 2  | 19.7                 | 5  | 3.4                       | 13 | 7        |
| 7  | 2651 ローソン                        | 76.3           | 20.5                                  | 10 | 16.6                              | 5  | 15.8                 | 9  | 18.1                 | 7  | 5.3                       | 4  | 6        |
| 8  | 7532 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス | 74.5           | 21.6                                  | 6  | 16.0                              | 8  | 16.2                 | 6  | 16.5                 | 9  | 4.2                       | 7  | 5        |
| 9  | 8227 しまむら                        | 74.4           | 21.9                                  | 3  | 17.1                              | 1  | 15.2                 | 12 | 16.1                 | 12 | 4.1                       | 8  | 11       |
| 10 | 7453 良品計画                        | 70.4           | 19.2                                  | 12 | 14.6                              | 17 | 16.3                 | 4  | 16.3                 | 10 | 4.0                       | 9  | 14       |
| 11 | 3092 ZOZO                        | 67.7           | 20.6                                  | 9  | 14.1                              | 19 | 16.3                 | 4  | 14.8                 | 15 | 1.9                       | 19 | 9        |
| 12 | 8282 ケーズホールディングス                 | 66.8           | 18.6                                  | 13 | 16.0                              | 8  | 14.8                 | 13 | 15.0                 | 14 | 2.4                       | 17 | 16       |
| 13 | 8233 高島屋                         | 66.2           | 18.0                                  | 18 | 15.1                              | 14 | 14.3                 | 15 | 15.3                 | 13 | 3.5                       | 11 | 17       |
| 14 | 3141 ウエルシアホールディングス               | 65.5           | 19.8                                  | 11 | 15.5                              | 11 | 13.9                 | 16 | 14.0                 | 16 | 2.3                       | 18 | 12       |
| 15 | 8267 イオン                         | 65.3           | 15.9                                  | 20 | 13.0                              | 21 | 15.3                 | 11 | 17.6                 | 8  | 3.5                       | 11 | 19       |
| 16 | 3391 ツルハホールディングス                 | 65.0           | 18.4                                  | 14 | 15.6                              | 10 | 14.7                 | 14 | 13.6                 | 18 | 2.7                       | 15 | 8        |
| 17 | 7649 スギホールディングス                  | 62.2           | 18.2                                  | 15 | 14.9                              | 15 | 13.4                 | 18 | 13.2                 | 19 | 2.5                       | 16 | 10       |
| 18 | 9989 サンドラッグ                      | 61.3           | 18.2                                  | 15 | 15.5                              | 11 | 12.9                 | 19 | 12.9                 | 20 | 1.8                       | 21 | 18       |
| 19 | 9831 ヤマダホールディングス                 | 61.1           | 17.3                                  | 19 | 10.8                              | 22 | 11.9                 | 20 | 16.3                 | 10 | 4.8                       | 5  | 21       |
| 20 | 3064 MonotaRO                    | 59.6           | 18.1                                  | 17 | 14.7                              | 16 | 13.7                 | 17 | 11.2                 | 21 | 1.9                       | 19 | 15       |
| 21 | 9843 ニトリホールディングス                 | 54.4           | 13.7                                  | 22 | 14.2                              | 18 | 9.2                  | 22 | 14.0                 | 16 | 3.3                       | 14 | 20       |
| 22 | 2670 エービーシー・マート                  | 47.3           | 15.3                                  | 21 | 14.1                              | 19 | 9.5                  | 21 | 6.8                  | 22 | 1.6                       | 22 | 22       |
|    | 評価対象企業評価平均点                      | 69.19          | 19.48                                 |    | 15.32                             |    | 14.61                |    | 16.17                |    | 3.61                      |    |          |

## 2022年度評価項目および配点（小売業）

【評価期間：2021年7月～2022年6月】

| 1. 経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス（27点）                                                                                                       | 配点 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| (1)経営陣のIR姿勢                                                                                                                              |    |
| ・経営トップがIR活動に理解を示し、注力していますか。また、IR活動で得られた知見や意見を経営活動に活かしていますか。【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                         | 9  |
| (2)IR部門の機能                                                                                                                               |    |
| ・IR部門にグループ会社を含む十分な情報がタイムリーに集積されており、IR部門が経営陣の代弁者として有益なディスカッションができますか。                                                                     | 9  |
| (3)IRの基本スタンス                                                                                                                             |    |
| ・当該企業のディスクロージャー・IR全体を通じて、企業理念・中長期ビジョンを含め、アナリストや投資家のニーズを十分理解した上で、適切なレベルの情報開示を維持または改善していますか。                                               | 9  |
| 2. 説明会、インタビュー、説明資料等における開示（20点）                                                                                                           | 配点 |
| (1)説明会、インタビューにおける開示                                                                                                                      |    |
| ・決算説明会等における会社側の説明および質疑応答は十分に満足できるものですか。【優れている点あるいは改善が望まれる点についてコメント欄に記入して下さい】                                                             | 6  |
| (2)説明資料等（短信およびその付属資料を含む）における開示（以下①～③については、持株会社の場合、主要事業会社についての記載を評価する）                                                                    |    |
| ①実績および次期事業計画について、決算短信・添付資料と同時に、企業分析に必要なかつ十分な補足資料が開示されていますか。                                                                              | 6  |
| ②月次の売上状況は、十分に開示されていますか。                                                                                                                  | 2  |
| ③投資家にとって重要と判断される事項（例えば、業績変動、合併・提携等）が発生した場合、迅速かつ公平に十分な説明を行っていますか。また、セグメント分類やIFRSの導入をはじめ会計方針等の制度変更が生じた場合、過去の数値と比較ができるような情報の開示が十分に行われていますか。 | 2  |
| (3)四半期情報開示                                                                                                                               |    |
| ・四半期決算発表後、電話会議や補足資料などを通じて速やかに業績動向が把握できるようにしていますか。また、説明会の日程等に十分配慮していますか。                                                                  | 4  |
| 3. フェア・ディスクロージャー（18点）                                                                                                                    | 配点 |
| (1)フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢                                                                                                                   |    |
| ①経営陣がメディアを含む総合的な情報開示や取材対応につき、不公平や混乱が生じないようにしていますか。                                                                                       | 5  |
| ②経営陣およびIR部門が、投資家にとって重要と判断される事項（疫病や自然災害等を含む）を遅滞なく十分に、かつ公平に開示していますか。                                                                       | 2  |
| (2)ウェブサイトやリモートツールによる情報提供                                                                                                                 |    |
| ①決算説明会等の内容（質疑応答を含む）を迅速かつ公平にウェブサイトに掲載していますか。                                                                                              | 5  |
| ②リモートツール等を活用した有用かつ、速やかな情報提供を行っていますか。                                                                                                     | 2  |
| (3)外国人投資家向け情報提供                                                                                                                          |    |
| ・英文による情報提供は充実していますか。（0～4点の整数で評価）                                                                                                         | 4  |
| 4. ESGに関連する情報の開示（27点）                                                                                                                    | 配点 |
| (1)ESGに関する取組み                                                                                                                            |    |
| ①企業価値の向上につながるようなマテリアリティの設定が行われ、開示されていますか。                                                                                                | 5  |
| ②ESGに関する十分なデータ、目標達成に向けての具体的な戦略、および進捗状況が開示されていますか。                                                                                        | 5  |
| ③ESGに関する取組みについて、統合報告書や説明会等（社外取締役との対話を含む）を通じて、市場関係者の理解を得るように努めていますか。                                                                      | 5  |
| (2)目標とする経営指標、資本政策、株主還元策等の開示                                                                                                              |    |
| ・中期経営戦略や長期ビジョンを公表し、株主還元策や資本政策（資本コスト・リターン）、経営目標等を具体的かつ納得性の高い数値で示していますか。                                                                   | 12 |
| 5. 各業種の状況に即した自主的な情報開示（8点）                                                                                                                | 配点 |
| ①会社主催の決算説明会、ESG説明会以外のIRイベントを積極的に実施し、かつその内容が充実していますか。【過去1年間を目安に評価】<br>【充実していたIRイベント等名をコメント欄に記入して下さい】                                      | 4  |
| ②投資家やアナリストのニーズを踏まえ、IR部門以外のセクション（店舗、物流センター、海外拠点等）へのインタビュー等について積極的に対応していますか。                                                               | 4  |

## 小売業専門部会委員

|       |        |                     |
|-------|--------|---------------------|
| 部 会 長 | 小 場 啓司 | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 |
| 部会長代理 | 高 橋 俊雄 | みずほ証券               |
|       | 風 早 隆弘 | クレディ・スイス証券          |
|       | 金 森 都  | SMBC 日興証券           |
|       | 仲 西 恭子 | アセットマネジメント One      |
|       | 西 村 俊一 | 三井住友 DS アセットマネジメント  |
|       | 村 田 大郎 | JP モルガン証券           |

## 評価実施アナリスト（36名）

|         |                     |         |                     |
|---------|---------------------|---------|---------------------|
| 饗 場 大介  | 岩井コスモ証券             | 高 田 訓弘  | 三菱 UFJ 国際投信         |
| 荒 木 正人  | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 | 高 橋 俊雄  | みずほ証券               |
| 安 藤 広樹  | 三井住友トラスト・アセットマネジメント | 田 村 真一  | 極東証券経済研究所           |
| 五十崎 義将  | 東京海上アセットマネジメント      | 津 田 和徳  | 大和証券                |
| 石 井 孝一郎 | 三菱 UFJ 信託銀行         | 勅使河原 充  | 朝日ライフ アセットマネジメント    |
| 伊 藤 彰洋  | 三井住友 DS アセットマネジメント  | 寺 島 正   | 大和アセットマネジメント        |
| 井 上 昂洋  | シティグループ証券           | 永 田 和子  | QUICK               |
| 江 上 誠   | 三井住友トラスト・アセットマネジメント | 仲 西 恭子  | アセットマネジメント One      |
| 大 場 剛平  | 野村アセットマネジメント        | 納 博 司   | いちよし経済研究所           |
| 奥 村 裕介  | 岡三証券                | 仁井田 将   | りそなアセットマネジメント       |
| 風 早 隆弘  | クレディ・スイス証券          | 西 村 俊一  | 三井住友 DS アセットマネジメント  |
| 金 森 都   | SMBC 日興証券           | 林 晃 弘   | 朝日ライフ アセットマネジメント    |
| 金 森 淳一  | 岡三証券                | 樋 口 夏子  | 三井住友トラスト・アセットマネジメント |
| 川 原 潤   | 大和証券                | 堀 井 章   | ニッセイ アセット マネジメント    |
| 高 英 詞   | 野村アセットマネジメント        | 村 田 大郎  | JP モルガン証券           |
| 小 場 啓司  | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 | 守 屋 のぞみ | UBS 証券              |
| 篠 崎 真紀  | モルガン・スタンレー MUFG 証券  | 山 岡 久 紘 | 野村證券                |
| 角 英 樹   | 東海東京調査センター          | 横 山 雄一  | 三菱 UFJ 信託銀行         |

（注） 上記各アナリストの評価実施企業は、各人それぞれ異なることに留意。